天地人

宇都宮商工会議所会報　1998-1/10　VOL.412

主な内容

年頭所感 藤井会頭・渡辺知事・増山市長……1頁
稲葉会頭・日向野専務理事……2頁
委員長・部会長の'98今年の抱負……4～5頁
青年部創立15周年で記念式典……6頁
新ナンバーは「宇都宮」で再度要望

発行所 宇都宮商工会議所
〒320 宇都宮市中央3-1-4
☎ 028-637-3131
FAX 028-634-8694
http://www.ssctnet.or.jp/utunomiyacci/
編集兼発行人 日向野 三郎
印刷所(株)松井ピ・テ・オ・印刷
会員の購読料は、会費に含まれています

創造的挑戦と変革へ 不撓不屈の決意新た

地域振興へ連携拡充

会員の意見拝聴
中小企業支援
諸施策推進を示唆

栃木県商工会議所連合会会長
宇都宮商工会議所会頭
藤井 清

穏やかな日差しの中で、皆様とともに新しい年を迎えられましたことを、心からお慶び申しあげます。

昨年は、消費税率引上げ、所得税、住民税の特別減税の打ち切り等により景況感が急速に悪化し、加えてアジア経済の動揺を契機として世界同時株安などが進行し、それが金融不安を引き起こすなど、極めて悲観的な状況に陥りデフレの様相を濃くして越年するに至りましたが、年末には法人税率の軽減、所得税減税が打ち出されるなど景気浮揚への財政出動がなされ、期待感も高まりつつあります。さらに金融システムの安定化も急務でありますので、預金保険機構への10兆円規模の国債交付などの対策を早急にお願いしたいと考えております。

一方、県内経済も同様に推移し、中小企業を中心に売上の伸び悩み、受注の減少や単価の引下げなど厳しい経営環境におかれ、とくに中心市街地の空洞化は、地域振興の観点から抜本的な対応を迫られているのが実情であります。

以上のような現状を踏まえて県内9商工会議所としては、関係各機関に対し規制緩和、経済構造改革・行財政改革の推進等をさらに進められ、さらに県内経済の活力の源泉である中小企業対策のより一層の充実・強化を、強く働きかけてまいりたいと存じます。

県都宇都宮に目を転じましても、長期化する不況による閉塞感が蔓延する経済環境でありましたが、都市活性化さらには都市文化の高揚事業として、「うつのみや薪能」、「宮の市」、「二荒山神社の杜ライトアップ」等、会員各位のご協力をいただきながら実施いたし、多くの賛同を得たところであります。また旧臘には民間の英知を結集し、行政と一体となった地域活性化推進組織として「宇都宮まちづくり推進協議会」を設置し、都市基盤整備や魅力ある都市づくりに向けた取り組みが始動いたしておりますので、関係各位の力強いご協力をお願いいたします。

さらに、経済圏域の広域化にともない、地域連携や情報交流の必要性が高まってまいりますが、本年は国内外商工会議所との交流事業をはじめ、より緊密な会員事業所との懇談を通じ、地域に密着した課題の抽出と解決に向け、よりグローバルでキメ細やかな施策の展開を図ってまいりたいと存じます。

私ども商工会議所といたしましても、地域総合経済団体として、行政との一層の連携強化の中でその機能を十分に発揮し、来るべき21世紀へ向けての栃木県、県都宇都宮の活力創造に向け邁進いたす所存であります。

以上、新年にあたりまして所懐の一端を申し上げましたが、会員の皆様並びに関係各位の悠久の発展を祈念いたしましてご挨拶といたします。

●●地域に、より密着した商工会議所を目指す会員事業所の皆様との対話集会です。お気軽にお入り下さい。

都心部移動商工会議所開催中

日時 平成9年9月4日 木 午後1時30分～4時
会場 二荒山会館 鶴の間
主催 宇都宮商工会議所

21世紀の鼓動が弾む
ふるさと〝とちぎ〟を実現

栃木県知事 **渡辺 文雄**

皆さま、明けましておめでとうございます。

平成に入り今年で10年目を迎えましたが、この間、冷戦構造の終結、経済のグローバル化、更には地球環境問題などにより世界情勢は大きく変容いたしました。国内的にも少子・高齢化や高度情報化などが急速に進展するなど、私達を取り巻く社会経済状況は大きな変化を遂げつつあります。

県内に目を転じますと、依然として先行き不透明な経済状況の中におきましても、地理的優位性や豊かな地域資源を十分生かしながら順調な発展を続けており、昨年9月には県人口が200万人に到達し、1人当り県民所得等の主要指標でも全国で上位にランクされております。

しかしながら、本県の持つこの活力を一層発揮していくためには、時代の潮流や国内外の動きを見極め、時機に即応した的確な県政運営を図っていく必要があります。このため、県におきましては現在、希望と活気に満ちた〝とちぎ新時代〟の創造を目指し、「とちぎ新時代創造計画3期計画」に基づき、各般の施策に取り組んでいるところです。特に、産業の振興につきましては「とちぎ産業振興ビジョン」に基づき、創造的な活動を行う企業の育成をはじめとして、地域中小企業の振興など企業の活力を高める施策の展開にさらに努めてまいりますと共に、中心市街地の活性化など、今日的な課題にも取り組んでまいりたいと考えております。

更に「首都機能移転」につきましては、国の国会等移転審議会において、現在移転先候補地の選定作業が行われております。県といたしましては、那須地域への移転促進に向け、県民の皆様のより一層のご理解とご協力が得られますよう、引き続き努力して参ります。

「皆さまと共に考え、共に歩む」ことを県政の基本として、一人ひとりが真に豊かさを実感できる、ふるさと〝とちぎ〟の実現に向けて全力を尽くす考えでありますので、200万県民の皆さまのご協力とご支援をお願いいたします。

年の初めにあたり、私の抱負の一端を申しあげますとともにご多幸とご健勝を心からお祈り申しあげまして、新年のご挨拶といたします。

第4次総合計画スタート
次世紀展望するまちづくり元年

宇都宮市長 **増山 道保**

謹んで、新春のごあいさつを申し上げます。皆様方には、新たな抱負を胸に、清々しい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

市制施行101年目の平成9年は、100周年記念施設として整備した美術館や農林公園が、本市の文化、農林業振興の拠点として約96万人余の市内外の多くの皆様方にご利用いただき、好評を博した年でした。

また、21世紀を展望した新しいまちづくりの指針となる第4次総合計画のスタートの年として、将来の財政の健全性や弾力性を確保しながら、新たな行政需要に的確に対応するため、いち早く、財政構造改革に取り組んだ年でもありました。

本年は、これら改革の趣旨を十分に踏まえながら、「ひとに活力 まちに魅力 未来へ羽ばたく つどいの都うつのみや」を総合計画の都市像に掲げ、「市民が輝く、誇れる、自立したまちづくり」を基本理念に、市民の皆様方一人ひとりの個性が尊重され、わがまちを愛する心や市民としての自覚を育み、地域の課題を地域自らが解決できる自治の確立したまちづくりのため、諸施策の着実な推進に全力で取り組んでまいります。

このため、空洞化が進んでいる都心部については、本市の顔づくりという面からも、活性化に向けた諸事業に積極的に取り組み、個性的で、魅力溢れるまちづくりを推進するとともに、少子・高齢化策として、子育て支援・児童の健全育成、老人保健サービスの充実やごみゼロ運動、ダイオキシン対策、新清掃工場の建設などの環境整備、また、交流拠点機能としてのJR宇都宮駅東口周辺の整備やテクノポリス計画の推進などにも努めてまいりたいと考えております。

さらには、これからの地方分権の進展を見据えた自主性・自立性の高い行財政運営、介護保険の導入に向けた福祉制度の充実や中核都市圏としての本市の役割を十分に踏まえながら、市民にやさしい、誇りのもてるまちづくりに邁進する決意を新たにしております。

皆様方のさらなるご支援ご協力をお願いいたします。

うつのみや新時代を創造
産業と文化が織り成す街づくり

宇都宮商工会議所
専務理事　日向野　一二郎

瞳んで新年の御祝詞を申しあげます

わが国経済活力の源泉である中小企業においては、景気等の回復の動きは然として鈍く、特に国際的な競争の激化、人材の高齢化や流通構造の急激な変化等、中小企業を取り巻く経営環境は誠に厳しい状況にあります。

現況下での中小企業には自らの経営基盤を強化しながら、機動性や柔軟性を発揮して創造的で独創的な事業の展開を進め、技術力の向上、生産システムの導入による新製品やサービスづくり、さらには高付加価値のある製品化等に努めながら、国際的な構造変革の荒波を乗り越え、発展を遂げていくことが期待され、さらなる本県の産業振興が望まれております。

一方、衰退した都心部や、再生対策につきましては、地域経済を支える拠点としての中心市街地への従前と違った発想による商業・サービス業・都市型産業等の集積等を進め、魅力ある事業環境の創出をはじめ、伝統と文化を導入し、さらには、高齢化社会等に対応した街づくりを総合的に実施することが急務であるといえます。

しかし、それを乗り越えて世界に通用する日本をつくっていかねばならないと思います。

昨年の日本経済を取り巻く状況を顧みますと、年初来の株価の低迷や為替の変動、不良債権問題の処理の遅れ、不安定な雇用情勢、そして4月からの消費税の引き上げ等による消費の伸び悩みなど様々な要因から、依然として景気回復を実感できない状況が続いてきたところに、年末近くなっての大手金融機関の相次ぐ経営破綻が、景気回復への足取りを一層鈍らせ、不安感を醸成することになりました。

21世紀切りひらく
緊急経済対策を促進

日本商工会議所
会頭　稲葉　興作

政府は緊急経済対策を実施しましたが、景気回復のためにあらゆる手段を用いて、さらなる景気対策を望みます。中小企業も自身の構造改革への取り組みを迫られておりますが、この時をビジネスチャンスと捉え新技術の開発や新分野の開拓に果敢に取り組み、時代を先取りした経営に挑戦していくことが必要です。

地域総合経済団体である商工会議所はその使命と役割を果たすべく、経済の再生による地域経済の活性化、企業の海外展開や技術革新の促進などの国際交流の推進など、時代の変化にも応えた活動の展開を積極的に図っていきたいと考えております。

また、これからのネットワーク社会において、商工会議所としては、情報の提供が、商工会議所活動の大きな柱として捉え、情報交換は勿論、会員の方々が所在地以外の商工会議所の発信する情報に非常に便利にアクセスすることができるCIN（商工会議所情報ネットワーク）をこの1月から稼働いたします。やがて全国161万会員のネットワークを基軸に、商工会議所活動のさらに積極的な展開を目指して参りたいと存じます。

本年も全国517の商工会議所が一丸となり、使命達成に取り組む決意でありますので、一層のご支援・ご協力を心からお願い申しあげます。

大店法のゆくえ視野に
活性化策、中小企業の支援強化

まちづくり
推進協議会が始動
31社・団体が参加
2部会で方向性探る

空洞化や低迷する商業活動活性化策など、宇都宮のまちづくりの現状と課題について意見交換をすると共に、都心部活性化や特定地域の振興について検討し、宇都宮市全体のまちづくりの効果的な推進を図ろうと「まちづくり推進協議会」の第1回会合が12月2日に市役所で開催された。宇都宮を代表する企業31社が出席し、開発事業からソフト事業まで市内全体の幅広いまちづくりを担う組織の設立を探っていく。

推進協議会に参加したのは、市、宇都宮商工会議所、足利銀行、松下電器、富士重工、元気寿司、宮、コジマ、ユーエスケーなど市内の主要企業31社の代表者。増山道保市長が設立に強い意欲を示しながら挨拶、続いて当所藤井会頭が会長に選出され議長として議事進行した。協議会の協議事項は、①都心部活性化、②大谷など郊外地域の振興、③宇都宮まちづくり推進組織の設立、としている。

広域化や地域連携、長期化する不況感などから多くの議題が指摘され、解消には行政と民間が一体化した「宇都宮まちづくり推進組織」の設立が検討されてきた。参加企業は、開発事業とソフト事業の2部会に分かれ、内容を協議して推進組織設立への方向性を打ち出すことにしている。なお、両部会は、ともに12月18日に第1回会議を開催し、各検討事項について意見を交わした。

ました。

渡御行列も華やかに

宇都宮二荒山神社
宮司　助川　通泰

明けましておめでとうございます。輝やかしい初日と共に、新しい年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

昨年は相生地区市街再開発事業に伴って一荒通りに面して、当社の摂社下之宮が立派に竣工し、社殿完成時にのみ執行されます浄闇のまつり「本殿遷座祭」が、厳粛に遷行することができました。下之宮の社殿施設は宇都宮ならではの市街景観の一つとして、各界より賞賛を賜わりご同慶に存じます。

市制100周年の記念行事の一環として当社のライトアップが行なわれましたところ大変に好評を博し、継続できないかとの市民の声を受け、昨秋宇都宮商工会議所の特段のご協力により

まして委員会を構成し、広く皆様から協賛を願いましてご報告いたしました。皆様のお喜びいただきますようお願いを申しあげます。

機敏な対応で
地域社会の発展を

東日本旅客鉄道㈱
宇都宮駅長　江面　良雄

JR東日本も新会社以降後11年が経過し、新たな10年目のスタートの年としてお客様から外部指向の企業風土への転換を図っています。現在、幸いにして平成11年第1四半期に「栃木ディスティネーションキャンペーン」が決定し、昨年10月23日に栃木県知事はじめ関係自治体、観光協会、商工農各団体等参加のもと「やすらぎの栃木路」特別宣伝推進協議会の設立総会が行われました。

このキャンペーンは、県観の拠点として市民に呈し、若人等楽しい愛されるゾーンづくりを願っております。

最後に市内巡幸の渡御行事をより華やかに整備されたご報告いたしました。皆様のお喜びいただきますようお願いを申しあげます。

日本版
ビッグバンに向けて

日本団体生命保険㈱
宇都宮支社長　岡田　義雄

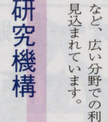
平成8年12月に決着を見た「日米保険協議」から1年余り経過した今、保険業界は激震・驚愕の真直中にあると言っても過言ではないと思います。「日本版ビックバン」の言葉は知っているが、今ひとつ理解出来ないと言っていた人が多かったと思います。

「フリー・フェア・グローバル」のキーワードから大手金融機関のまさかの破綻など痛みを伴って肌で感じとせられます。

全国から年間をとおし平準化した誘客につながり、豊かな県づくりに貢献するものと確信致します。

私共JRは、常に良質なサービスの提供を基本に時流を機敏に察知し、地域の皆様と共に地域発展に取り組んでまいります。

東京ガス㈱宇都宮支社



支社長　真下　進

平成10年の新春を迎え、謹んで慶び申しあげます。

今や世界経済は、グローバル化・ボーダレス化が進み、全世界が市場経済の波に洗われ、日本においては戦後50年余り我が国をささえてきた制度やシステムが現状では機能しなくなってきております。国際社会との調和を図りつつ、新たな社会経済システムへの取り組みが求められている背景を踏まえ、橋本内閣は行政・財政等6大改革を進めておりますが、特に行政改革は最重要かつ緊急の課題であり、若干の前進はあるものの12月に中央省庁再編案が決定し、改革への第一歩が始まりました。今後これらの改革を実行していく過程では、大きな痛みが生ずる分野も出てくるでしょう。

お客様のライフスタイルにあう数々のBBW車を用意しております。安全運転の意だけでは防ぐことの出来ない、アクシデントから身を守る方法。それは、BMW宮瓦斯㈱として発足し、昭和20年に東京ガス㈱となり現在に至っています。平成8年度末の需要家件数は、45、534件で届けているガスは全て新潟産の国産天然ガス。都市ガスの主な要素は家庭用や商業用で、都宮地区の将来の発展性を見込み、新パイプラインの敷設工事にも着手、万全の供給体制の実現を目指します。

③当支社は明治44年に宇都

全基地をはじめ、ガスタービンコージェネレーションなど、広い分野での利用が見込まれています。

財とちぎ総合研究機構

もと考えられます。数字的には昨年の反動から、1％半ばの成長見通しですが引き続き「回復感に乏しい回復」となりそうです。

②低成長が常態化し、経済全体のパイが限られる中で、今後一層「二極化」「好調業種と不調業種、回復企業と衰退企業の格差」は広がるものとみられます。勝ち組み残るためには「時代の変化に素早く対応し、独自の強みを発揮すること」が大切かと思われます。この数年は中小企業にとって厳しい状況が続いましたが、これからは機動力、適応性、個々の強みをもった中小企業の活躍が期待できるのではないでしょうか。

③当財団は、地元におけるシンクタンクとして昭和63年に設立され、以来、地域づくりや経済動向等についての調査研究事業に取り組んでおります。

また、講演会の開催や機関誌「TALK」の発行等を通じて、地域の皆様への情報提供も進めております。

お蔭様をもちまして、本年で設立10周年を迎えますので、今後は地域の一層の発展のため、蓄積してまいりました情報・人的基盤を積極的に地域に還元してまいる所存でございます。

過去5年間の販売量の伸びは約1.4倍になり、特に事務所ビル等の冷房用ガスの伸びが顕著です。支社では料理教室も開催され、主婦や結婚前の女性に人気を戴いております。また、天然ガスは温室効果ガス削減の為の有力な燃料としても注目されており、コージェネレーションや天然ガス自動車など、広い分野での利用が見込まれています。

東京ガス㈱宇都宮支社

支社長　真下　進

取締役社長
相場　昭次

㈱トーコーモータース

'98 はどうなる 景況展望

アンケート
①貴社・貴団体から展望した'98景況
②我が社・我が団体の景況対応及び新機軸
③貴社・貴団体を紹介

一段と映える市内夜間景観の拠点として市民に呈し、若人等楽しい愛されるゾーンづくりを願っております。

最後に市内巡幸の渡御行事をより華やかに整備されたご報告いたしました。皆様のお喜びいただきますようお願いを申しあげます。

日本版
ビッグバンに向けて

日本団体生命保険㈱
宇都宮支社長　岡田　義雄

平成8年12月に決着を見た「日米保険協議」から1年余り経過した今、保険業界は激震・驚愕の真直中にあると言っても過言ではないと思います。「日本版ビックバン」の言葉は知っているが、今ひとつ理解出来ないと言っていた人が多かったと思います。

「フリー・フェア・グローバル」のキーワードから大手金融機関のまさかの破綻など痛みを伴って肌で感じとせられます。

全国から年間をとおし平準化した誘客につながり、豊かな県づくりに貢献するものと確信致します。

私共JRは、常に良質なサービスの提供を基本に時流を機敏に察知し、地域の皆様と共に地域発展に取り組んでまいります。

「フリー・フェア・グローバル」のキーワードから大手金融機関のまさかの破綻など痛みを伴って肌で感じとせられます。

明けましておめでとうございます

皆様のご繁栄ご多幸をお祈り申しあげます

平成10年　元旦

宇都宮商工会議所
役員・議員一同

永遠の夜の賑い
神門映ゆ

悠久の杜を年間を通し常設設備で、継続的にライトアップ。夜空に彩光を受けて、シンボリックな二荒の杜が誕生した。

宇都宮二荒山神社の杜
ライトアップ施設の建設に対する協賛金のお願い

本主旨をご理解賜り、ご協力くださるようお願い申しあげます。

●協賛申込み
協賛金申込書を事務局まで郵送（FAX可）、またはご持参ください。

●協賛金額
3,000円以上でお願いいたします。

●お支払方法
下記の口座にお振込みいただくか、または宇都宮商工会議所へご持参ください。
（記載の3金融機関の県内各店舗からの振込手数料は無料です。
振込用紙は各金融機関の所定の用紙をご使用ください。）

○振込先
- 足利銀行宇都宮支店　普通預金　No3116456
- 栃木銀行本店　普通預金　No1265501
- 宇都宮信用金庫本店　普通預金　No1171138

○口座名　「宇都宮二荒山神社の杜ライトアップ委員会」

●ご芳名掲載
①ご協賛いただいた方の「ご芳名」をタイムカプセルで保存いたします。
②宇都宮商工会議所機関紙に「ご芳名」を掲載いたします。
③協賛金3万円以上の方については、銘板に「ご芳名」を刻し、神社境内に掲示させていただきます。
※②、③について掲載を希望されない方はお申し出ください。

●申込・締切
10年1月16日締切。
宇都宮二荒山神社の杜ライトアップ委員会事務局（宇都宮商工会議所内）
宇都宮市中央3丁目1－4　☎（637）3131　FAX（634）8694

宇都宮二荒山神社の杜ライトアップ施設建設 協賛金申込書

平成　年　月　日

宇都宮二荒山神社の杜ライトアップ委員会
委員長　藤井　清様

申込者／住所
氏名　印
TEL

二荒山神社の杜ライトアップ施設の建設に賛同しますので、下記の協賛金を申込みます。

協賛金額　円

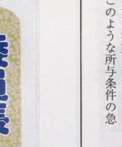
コピーして郵送、またはFAXしてください。

ショールームが新しくなりました。
オフィスウェアを豊富にとりそろえましたのでぜひお気軽に御来店ください。
1着から卸値で販売！
ユニフォームの
Aosho
株式会社アオショー
本社・ショールーム／宇都宮市鶴田町1544-3
TEL 028(648)8888㈹ FAX 028(648)8883

委員長・部会長 '98 今年の抱負

商工業の振興に尽力

企業経営委員会
柳田美夫委員長

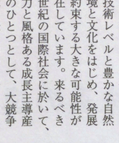


緩やかな回復基調にある日本経済も、昨年後半から経済の先行きに対する不透明感により、足踏み状態を続けております。経営環境が厳しさを増しているなか、政府には日本経済が民間需要中心の自律的な安定成長軌道に乗るための経済対策を着実に実行していただきたい所であり、私どもも企業経営者には経営資源の一層の効率的運用と、この様な時代の変化を逆にチャンスと考える前向きな経営姿勢が必要なのではないでしょうか。

今、地域の経営者の皆様方が景気の現状を十分に認識し企業の発展を図る為に、経済全体が発展していくことが大切であり、地域経済の先行きに対する不安感を払拭するためにも、地域の経営者の皆様方の先頭に立ち、ビジネスチャンスの創造に努めることこそが、地域経済の活性化のためにも、また、企業経営者自身の為にも必要なことであると考えます。

都市観光の創出へ

うつのみや再発見事業特別委員会
斎藤高蔵委員長



昨年から新しく「うつのみや再発見事業特別委員会」が設置され、宇都宮の歴史や都市的資源を活かし都市観光の創出や文化事業を展開することにより、都市振興や都市活性化について、調査研究していくことになりました。

宇都宮は1、000年以上の歴史を持つ二荒山神社を中心に商都として栄えてきた街ですが、中心部の空洞化が大きな問題となり、かつての活気ある成長主導産業のひとつとして、観光産業も大きな事業を担う存在でいます。来るべき21世紀の国際社会に於いて、活力と風格ある成長主導産業のひとつとして、観光産業も時代を乗り切って行くためには、これらの可能性を存分に活かし、効率的で活力ある経済社会とそれを育み支える新しい21世紀国土の実現を目指していかなければならないという意識があると思われます。

しかしながら、我が国経済社会には動脈的な国民性と教育水準の高い労働力、高い技術レベルと豊かな感性を約束する大きな可能性が存在しています。来るべき21世紀の国際社会に於いて、経済力と風格ある成長主導産業のひとつとして、観光産業と文化をはじめ、発展する事を期待しております。

目的意識を明確に

総務委員会
築郁夫委員長

昨年の日本経済はアジアを含めた不安定な後退し、これからの不透明感の中、商工会議所運営の変革が求められ、特に「地域経済の活性化のためにどの様な具体的な行動がとれるか、協議を重ねるいただいた。市制100周年からはじめた薪能や宮の市など、前回よりスケールアップをして継続実行させていただきました。また、都市観光を創出するひとつの材料として御本丸の歴史公園の整備や二荒山神社のライトアップなど事業を推進しています。

そのほか餃子横丁や八幡山公園の再整備・空き店舗の活用方法など多岐に渡りご検討していきたいと考えておりますので、会員の皆様にも是非アイディアなどご提案していただきたいと思います。

委員長・部会長 '98 今年の抱負

改革推進し新製品を提案

金属工業部会
鈴木貞夫部会長

会議所が先頃発表した平成9年度上期（1月～6月）の「市内製造業経営実態調査」によれば、経営上の問題点は「製品単価の低下」が最も多く「需要の停滞」と続いております。企業規模、業種などの見方に若干の異なりはあるものの、基本的には市内製造業の実態は推移してきているものと思われます。部会ではこういった問題点の改善に絶えず目を向けながら、タイムリーに的確な情報や意見交換を行い、今まで以上の技術力・コスト意識・現場の改善・新しい製造手法が要求されます。また、これを繰り返す事により製造現場の体力も必然的に向上し、所期の目的が達成されるものと確信しております。

小売業の知恵

〝街づくり〟に活かす

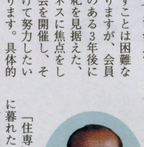
商業小売部会
斎藤高蔵部会長

心配された消費税率アップによる個人消費の低迷が現実となり、加えて医療費負担の増加や株価・地価低迷による個人消費の冷え込み等、消費意欲を削ぐ要因も数多く見受けられます。更なる状況悪化が懸念されます。早期打開策として、先ずは消費者の先行きに対する不安感を払拭することが必要であり、政府の実効性ある景気対策が望まれます。

目前の景気動向を見極めつつ、これ以上の規制緩和に対し「現下の中小小売業者の厳しい現状からみて死活問題であり、現行法の維持を堅持すべき」との意見や、「都市中心部の空洞化や商店街の衰退に拍車をかける」、「中小企業対策の強化を図ってほしい」など、地域経済社会に取返しのつかない混乱を招く」という意見が多いことも事実であります。関係機関にはかれましては、こうした地方都市や中小小売業者の実情を十分に勘案され、「現在、小売業者も地域生活者の視点に立った経営姿勢がより強く求められることになるでしょうし、情報化社会の進展により小売業態が違いなく、激しい競争時代になります。商売の原点とも言える小売業第一主義」の理念をもう一度見つめなおし、「まちづくり」に繁栄する商業基盤づくりに向けます。努力していきたいと思います。

よりアクティブな活動を

情報サービス部会
松本典文部会長



円・株・債券のトリプル安、金融不安など、大変厳しい経済状況の1年でしたが、当部会の構成員も、中小企業の集合体であり、将来の発展のためにも、地元に重厚長大産業から、地元に重厚長大産業へ幅広い業種の当部会は、共通の話題、目標を作り出すことは困難な状況でもありますが、会員の皆様方の3年後に迫った21世紀を見据えた、ニュービジネスの実現化をぼって頂戴したく、その実現に向けて努力していきたいと考えております。具体的には、めざましい変革を遂げている情報通信分野、近い将来到来するであろう、超高齢化社会に係わる福祉事業等の新規事業、年々深刻化する環境問題に取り組む事業など、その新規事業へ思いまます。こうしたテーマをとり作り上げ、会員相互の情報交流の場を深め、混迷の続く経済環境の中、精神的支柱たらんことを、また、地元の活力ある、地元と共に繁栄する商業基盤づくりを、行政に対しましても、積極的に働きかけていきたいと思います。

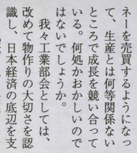
楽観主義を進もう

商業卸部会
箕輪勝朗部会長

余りにも暗いニュースが続きました。昨年頭に持ち越した大使館公邸人質事件は、強行突入により全員を救出しましたが、何かを予感させる重苦しさを残しました。果たして10年間位の重大ニュースが一度に起こった様な感がありました。神戸の連続小学生殺傷事件は、社会のひずみ、忌まわしい側面の投影と言えるかもしれません。野村證券の〝総会屋利益供与〟に端を発した事件は、わずか数ヶ月の内に山一、拓銀・日興へと波及し、我が国証券業界の屋台骨に驚かされました。さらに、日産生命・三洋証券・北海道拓銀行・山一證券・徳陽シティ銀行の経営破たんと続きました。バブル崩壊のつめ跡が深く大蔵省の護送船団方式のツケが廻ってきているのかもしれません。金融業界の再編は始まったばかりのに、先行きに安心がぬぐい切れません。規制緩和、金融改革、政治か革かなどの国家構造転換が、同時進行中の大競争社会ではこれまでの「いつか来た道」が全く役に立たぬ「新しい道」ばかりの昨今です。当部業界も川中業界として既に久しく、依然として「厳しい道」が続くでしょう。しかし、悲観的に考えすぎても「新しい道」は開けません。1千年代から2千年代へあと数年で移行する今を、何か新しい初まりとして楽観的にとらえるの人間の意志と思います。今年はお先真暗などと言わないで、知恵を磨き、知識を集め、額に汗して楽観主義で進もうではありませんか…、少々、甘いかな。

将来に希望もてる年に

一般工業部会
中川善一郎部会長



「住専」に明け「山一」に暮れた1997年でございましたが、振返ってみますとバブル崩壊の後遺症とも言えるものが、一歩一歩、表面化してきたような気がいたします。特に、金融不安、証券不安、銀行不安、保険不安、そして、企業不安、雇用不安、消費不安と、社会全体が不安感に覆われてしまった感があります。

改めて、物作りの大切さを認識し、日本経済の底力を支える気概を以て堅実に一歩一歩前進したいと思います。

我が工業部会としては、物作りの原点は、物を作り物々交換に始まり、次に貨幣制度に移行したものと理解しております。

そもそも経済の原点は、人と人との信頼関係にあり、事由に誇りを持てる社会であり、人と人との信頼関係にあり、事由に誇りを持てる社会であり、人と人との信頼関係にあり、事由に誇りを持てる社会であり

青年部が15周年記念式典

よびおこせ青年の疾風（かぜ）　自ら拓（ひら）こう21世紀の扉

宇都宮商工会議所青年部は、12月3日ホテルニューイタヤに於いて「創立15周年記念式典」を開催、提言やSTREETメッセなど、3委員会が担当してきた4つの記念事業を発表した。

式典では増山道保市長に続いて当所藤井会頭が挨拶、「青年経営者が次代の先導者として責任を自覚し、地域の経済的発展の支えとなって新しい文化的創造を駆使し、豊かで住みよい郷土づくりに貢献して欲しい」と、創立以来の努力とその活躍ぶりに謝意を述べると共に、青年部への期待を披瀝した。

創立15周年記念実行委員会・喜谷辰夫実行委員長は「昨年来、構想を協議して本日ご披露する事業の数々は、いずれも青年部設立以来15年間の集大成といえるもので、結実した事業は会議所の志向する重点事業を支援し、起草し成案を得たカテゴリーの中から次代へ継承されていく事を願っている。」と述べ、各担当委員会から記念事業を報告した。

創立15周年記念事業

新時代経営戦略委員会担当

①STREETメッセ

うつのみや秋まつり（商業祭）の11月2日～3日に二荒通りを会場に開催。市制100周年協賛事業から得た数々の成果や教訓を生かしながら、主たるターゲットを若者に置き現代版の仲見世の賑わいを復活させようと計画した。しっかりとしたコンセプトに支えられ、市中心部活性化への起爆剤を願って展開した「ミニ産業展」は、新たな商工業振興イベントとして絶賛の声が寄せられた。

宮のまち創造委員会担当

②都市活性化シンポジウム

今回で3回目。11月13日に街づくりや地域おこしをテーマに開催、産業文化財の調査・保存の重要性を説き、自ら体験している事例をもとに意見を交わした。

③提言「エラン・アーバン」

～都市の飛躍～

宇都宮中心部活性化への提案

5周年の「パンドラ計画」と、10周年の「ロータス構想」に続く記念提言を起草した。とちぎ新時代創造計画や第4次宇都宮市総合計画も視野に、周辺地域への産業立地・居住需要も喚起する交通網の整備「パラレルロード構想」や、宇都宮の特性を生かし、付加して幾つかのスポットに絞って提案した「宇都宮キメラ・ポリス」の提唱など、イメージパースを具象化しながら参考意見を上梓した。

杜の賑わい委員会担当

④創作太鼓「貞綱出陣太鼓」

平成7年10月に開催した「うつのみや再発見シンポジウム」で提言された出陣太鼓の創作で、宇都宮8代城主・宇都宮貞綱が蒙古襲来（弘安の役）の際、後詰めの総大将として出陣で打ち鳴らし国難を救い凱歌を奏したという史実を基に、歴史・文化を再発見しつつイベント性の高い事業手法の一つとして「貞綱出陣太鼓」を創設披露したもので、歴史小説家・島遼伍氏によるシナリオを講談師・田辺鶴英師匠が熱き心で伝え、作曲した宇都宮文星女子高の竹村憲夫教諭が自らシンセサイザーで織り成す太鼓の調べを聴き入った。

インターネットで全国へ情報発信

無料掲載希望企業を募集

当所は平成10年4月から全国に向けて発信するホームページに、取引照会を目的とした企業情報コーナーを無料で開設する。

※希望者は、経営相談課へ

雷都物語

宇都宮雷都物語事業本部

小林丘本部長

宇都宮の新名産品・統一ブランド「雷都物語」が誕生して、満3歳を迎えました。食文化を通して宇都宮の知名度を広げたいと努力してきましたが、発表以来多くの方々のご支持を賜り好評裡に推移してまいりました。偏に関係各位のご助力によるものと、深く感謝申しあげます。

現在25社の食料品メーカーが参加し、商品は32品目になっています。本年は新しいコンセプトによるこの名産品の数々を全国に紹介するため、販路拡大を願って販促活動を充実・強化するほか、募集して命名されましたブランドキャラクター〝轟ゴロ兵衛（愛称ゴロッペ）〟のグッズ商品を製造販売する計画も進めています。

引き続き、新たな参加企業を募集（審査会：3月開催予定）致しますが、「雷都物語」がなお一層ご支持いただける名産品として成長するよう、各位のご支援・ご協力をお願い申しあげます。

★新年のご進物は、「雷都物語」のなかからお選びください。

お求めは、取扱い各デパートまたはメーカーに直接ご注文ください。お尋ねは、雷都物語事業本部（宇都宮商工会議所内）へ。

雷都物語

作：むらたのりえ

おかげさまで満3歳

珠玉の逸品が勢揃い

宇都宮の新名産品・統一ブランド「雷都物語」が誕生して、満3歳を迎えました。食文化を通して宇都宮の知名度を広げたいと努力してきましたが、発表以来多くの方々のご支持を賜り好評裡に推移してまいりました。偏に関係各位のご助力によるものと、深く感謝申しあげます。

現在25社の食料品メーカーが参加し、商品は32品目になっています。本年は新しいコンセプトによるこの名産品の数々を全国に紹介するため、販路拡大を願って販促活動を充実・強化するほか、募集して命名されましたブランドキャラクター〝轟ゴロ兵衛（愛称ゴロッペ）〟のグッズ商品を製造販売する計画も進めています。

引き続き、新たな参加企業を募集（審査会：3月開催予定）致しますが、「雷都物語」がなお一層ご支持いただける名産品として成長するよう、各位のご支援・ご協力をお願い申しあげます。

★新年のご進物は、「雷都物語」のなかからお選びください。

お求めは、取扱い各デパートまたはメーカーに直接ご注文ください。お尋ねは、雷都物語事業本部（宇都宮商工会議所内）へ。

会報天地人 商い川柳 第1回表彰句が決定

会報「天地人」商い川柳の第1回表彰句が決定した。表彰対象句は平成8年10月号から平成9年12月号までに投稿された471句のうち、同コーナーに掲載された96句から選考。入賞した方々には後日、選者の荒井宗明先生揮毫による表彰句を楯に刻して贈呈する。

商い川柳第1回表彰句

会頭賞　一寸の虫を泣かせる五分の税　江部政司（江部商店）

優秀賞　神頼み榊はとうに枯れている　福士美枝子（いずみ食堂）

〃　算盤を妻に持たせてから黒字　大河原信明（栃木県用地保償コンサル）

〃　冬枯れの財布炬燵に籠りきり　大塚栄子（コスモ鋼業）

〃　二っ八を言い訳にして振るクラブ　大沢広明（宇信金下栗支店）

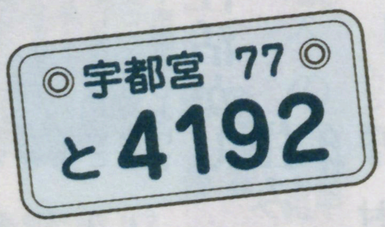
〃　創業ののれん時代の風に揺れ　半田正兆（松井ピ・テ・オ・印刷）

〃　突然の客コンビニであしらわれ　日向昇（松井ピ・テ・オ・印刷）

専務理事賞　天地人の中から拾う世の動き　鈴木隆之（鈴木服飾ルネ）

新ナンバーは“宇都宮”

鈴木交通運輸部会長が要望書を提出



県南地域への自動車検査登録事務所の新設に伴い、栃木陸運支局管轄区域内のナンバー表示が新たに設けられることが論議されており、'97年1月に宇都宮市と市議会、宇都宮商工会議所は「宇都宮ナンバー創設に関する要望書」を陸運支局に提出。当所はさらに12月16日、交通運輸部会・鈴木勘次郎部会長が運輸省関東運輸局を訪問し、同「要望書」を改めて提出した。

実現すると市のイメージアップや市民意識の向上、地域への経済的効果・活性化等々、図り知れないものがあると期待されていることから、新ナンバーの名称は「宇都宮」とすることを求めているもので、宇都宮ナンバー創設に向けた措置要望を続けている。

当所はJR宇都宮線誕生の折にも相当の努力を傾注したが、他団体とも連携をとりながら行政とも足並みを揃えて、粘り強く要望活動を展開していく。

任期定年制導入を提言

小規模企業振興委員　釜島光男

昨年は戦後50年、日本再生の改革元年と叫ばれ行財政改革が国民大合唱のもと華々しく幕を開けましたが、国民不在の官僚族議員による総論賛成・各論反対の省益利権のため、指針さえ明確にされぬままビッグバンによる不況企業・倒産等の暗いニュースばかりで終止し残念です。

身近な会議所の活動に於ては、昨年の移動商工会議所の開催はグッドタイミングの企画であり、藤井会頭初め企画設営された関係各位に感謝致します。日々是改革、従来の殻を破り、振興委員の構成も30代・40代の若い力を導入すること、任期の上限を設けること等が会議所の更なる活性化改革と思われます。私自身、初めて委嘱された時と今日を比較するに、やはり惰性でやっている悪い面が100%出ています。活力ある社会を作る為には、任期10年以内の定年制が絶対必要だと、或る政治家が話してくれましたが、身にしみる思いです。

今年こそ本当の改革元年に、身近なところから実行し、みんなで頑張りましょう。

使命感新たに！

小規模企業振興委員　松本洋子

昨年は景気停滞感の中で大手銀行や証券会社など、相次ぐ金融機関・金融商品の破たんに日本経済界が揺れ動き、国民は金融機関に疑問を持ち自己防衛策を選択して混とんとした歳末でした。

景況は、経営不振や売上げ減少で悪化を辿っています。

企業が抱える問題点　◦経営利益の減少と売上げの減少　◦製品単価の下落　◦需要の停滞　◦消費者ニーズの変化対応　◦競合店・大型店の進出…

私達「振興委員」は、地域の中小企業の振興や情報提供に傾注しながら会議所事業をサポートしています。融資・雇用・記帳・決算ほか「ふれあい共済」制度への加入や、新会員増強等を皆様と和して推進してまいりたいと存じます。

次代担う技能者を育成

小規模企業振興委員　尾股賢一郎

国をあげて真価が問われる年が明けました。昨年後半から、金融・証券・保険など、大企業の倒産や破綻が起こりました。このような時期こそ、今までの仕事をもう一度見直し、事業所で働きながら訓練校に入校し、知識と技能を磨き国家検定試験技能士の資格取得を目標に努力したいものです。宇都宮市においては、１級技能検定合格者に市長から１人１人に、社会や企業で技能士としての任務に自信と誇りを持つよう顕彰式を行っています。働く技能士にとって、力強く大変励みになっています。

さて、建設業界でも消費者の見方が建物まで、一般商品と同様に安く・早く出来れば良いと思われがちです。永年かけて資格を取得した技能士が、そうでない人と同一で仕事が理解されず、技能が低下することがないよう、私ども業界・企業が協力して消費者に理解されるよう努力していきたいと思います。そして、若い技能者の職業生活の安定に務め、立派に成長されるよう環境づくりを願っています。